

あなたとJAをむすぶ情報誌

なかしべつ

1999

4月
No.292

活動の輪を広げ、活発な意見がかわされ女性部通常総会



活動の輪が、 大きく広がるように。



平成11年度もいよいよスタート



「新役員紹介」フレッシュな顔ぶれです
みなさんご協力をお願いします

第四十六回女性部通常総会が、三月十八日(木)農協大会議室において開催されました。

横田部長から、「畜産環境問題や高齢者介護については、引き続き学んでいかなければならない課題であり、今後、活動の輪が大きく広がる様に、今日の総会で活発な意見がある事を期待します」と挨拶。続いて南出参事、普及センター・井芹所長、青年部・板橋部長から祝辞が述べられました。

出席者四十八人で、武佐地区・井

第46回 女性部通常総会



心肺蘇生法を実習、けっこう体力いります

農協女性部通常



講師の中標津消防署・平間係長



人形を使って実習しました

口伊津子さん、俣落地区・笠原嬉代美さんが議長に選出され、平成十年度事業報告、平成十一年度事業計画（案）が原案通り承認されました。総会終了後、中標津消防署・平間係長他五人の救急救命士を講師に招き、「救命講習会」が開催されました。

農村地域での高齢化が進み、一家に数人の高齢者がいる家庭も多く、突然のけがや病気におそわれた時、どのような対応をしたらよいかについて学びました。

はじめに平間係長より、救命に必要な応急手当の基礎知識を、講義とビデオにより習いました。その後、心肺蘇生法の実技を、人形を使い行ないました。参加者は三班に分かれ、真剣に取り組んでいました。心肺蘇生法には、意識確認や气道確保など重要なポイントがあり、確実にマスターしなければなりません。実技実習を終えた後、効果測定を行なうため一人ずつ、人形を使って行ないました。三時間に渡って行なわれた講習会終了後、根室北部消防事務組合消防本部より、「普通救命講習修了証」が参加者三十八人に手渡されました。

総会は盛会のうちに終了し、平成十一年度がスタートしました。

乳価3年連続 引き下げ!

畜産物価格、関連対策

政府は、平成十一年度の加工原料乳保証価格や関連対策を三月十九日に決定しました。

今回は「現行価格維持」を打ち出し運動を展開しましたが、保証乳価は一*当たり七十三円三十六銭で、現行より五十銭引き下げられ、これで三年連続の引き下げとなりました。

焦点となった二田特別対策は、四十八億円の財源を確保し、ふん尿処理など畜産環境問題に対応する酪農家を支援する施策に転換され、生産者ごとの出荷乳量を北海道の一頭当たり経産牛平均乳量で割り、換算経産牛頭数を算出し、この頭数で農家の持つ飼料面積を割って、経産牛一頭当たりの飼料作付面積水準に応じたランクごとに奨励金を交付する、日本初の直接所得補償制度に変わります。

また、保証乳価引き下げの代償措置として、Dランクを含む全ランクに十二億円の一律配分と新たに七億円の傾斜配分を行ったため、乳価に換算すると一*当たり二十九銭が増

えることとなります。

中標津町農協での試算では、六五割程度がAランクで、Bランクは三五割程度になる見込みで、農家によって奨励金に格差が出るようになります。

畜産物価格関連対策の概要

一、主要な改革の方向

(一)市場実勢を反映した適正な価格形成の実現及び酪農経営の安定確保(五十二億円)

- ①大綱の趣旨・内容等について、生産者への普及啓発を行うとともに、指定生乳生産者団体の再編整備広域化を推進することによる生乳共販体制強化を図る。
- ②加工原料乳及び市乳全体での需給システムの確立や需給体制の検討を進めるとともに、生産者団体が行う余剰生乳処理に対し助成を行うほか、飲用向け生乳流通の適正化を推進。

(二)経営体・担い手対策(七十四億円)

- ①経営体研修の実施、研修受け入れ体制の整備を図るとともに、新規就農希望者等の登録等を行う措置を講じる。
- ②法人化・協業化等を通じた、住宅、畜舎、草地等の適正配置及び運営方法についての調査・検討。
- ③コントラクターの育成、ヘルパ

ー要員の安定的確保及び病気・

事故に際して酪農ヘルパー利用を円滑に行うための自主的取り組みへ助成を行う。

④全酪農経営体に関する経営管理情報のデータベース化等の推進により、経営実態に応じた指導体制の整備を行う。

⑤生乳生産構造を改善するための酪農経営緊急対策事業を適切に実施する。

(三)生乳の流通対策(十五億円)

①全国レベルでの需給調整システムの確立や各ブロック内での需給体制の在り方の検討。

(四)乳業の再編・合理化(七十二億円)

①乳業の集約化による施設及び環境・衛生問題への対応、新製品の開発等に配慮した最新鋭の乳業施設整備等を推進する乳業再編整備等対策事業の適正実施。

二、改革を進めるための条件整備

(一)畜産環境対策の推進(百八十七億円)

①堆肥化施設や浄化処理施設のリースに必要な機械装置等の導入促進措置を講じる。また、堆きゅう肥料利用と土作りを促進するための成分分析・表示・散布機能強化措置、広域流通促進の為に機械・装置等を整備促進措置、食品残さの飼料化施設、新聞古紙等の敷料利用化施設、家畜ふん尿の良質堆肥化施設等資源循環型畜産システムのモデル的整備を講じる。

さらに、畜産経営の周辺環境整備を実施するとともに、悪臭防止技術や浄化処理技術等の開発・研究への支援を実施する。

②畜産廃棄物の円滑な処理を推進するため、死亡家畜冷却保管施設の整備、化製製品保管施設の整備、不可食物等の整備へ助成措置を講じる。

(二)自給飼料の増産(約二十八億円)

①自給飼料生産拡大のため飼料増産運動を含めた、大綱の趣旨、内容を普及・啓発する。

②堆きゅう肥の積極的な施用を通じた高位生産草地への転換促進措置及び日本型放牧を推進するためへの助成。

③飼料生産の組織化・外部化を推進するコントラクターの育成。

(三)家畜改良の推進及び飼養管理技術の高度化(約九億円)

①雌雄産み分け技術、搾乳ロボットの実用化を推進するとともに、優良な乳用後継牛の生産促進に奨励措置を講じる。

(四)牛乳、乳製品の流通、消費対策(約百二十四億円)

①牛乳乳製品の消費拡大を図るため、幼稚園、老人ホーム等での牛乳の集団飲用促進

②学校給食への計画的な牛乳供給に対する奨励措置

③環境・衛生問題への対応及び新製品の開発に配慮した最新鋭の乳業施設整備を推進する。

④乳製品取引市場の円滑な運営を図るための普及・指導の実施

(五)生産資材費低減対策(約一億円)

①効率的な自家配合飼料の給与技術の普及・定着

三、当面の対策(約百五十四億円)

(一)畜産環境問題に適切に対応し得る飼料基盤に立脚した酪農経営を実施している生産者を支援するため

の対策

(二)国産生クリーム向け生乳の需要拡大のための助成

四、畜産環境対策(約百八十七億円)

五、畜産経営対策

(一)負債対策(融資残枠一千九十五億円)

毎年の償還不能額の借り換え措置に加え、借換資金の融通に対する利子補給等を行う。

(二)労働軽減対策(約二十八億円)

肉用牛ヘルパー活動の推進や組織的な取り組みに助成を行う

(三)肉用牛肥育経営対策(約百五十七億円)

肉用牛肥育経営安定緊急対策事業の実施

(四)経営体・担い手対策(約三十三億円)

(五)低コスト化の推進(約七十九億円)

肉用牛のコスト引き下げ推進及び乳用種の素牛育成・肥育部門の生産性向上と飼養管理技術の改善などに助成

六、自給飼料の増産(約二十八億円)

七、家畜衛生・畜産物安全対策(約

三十三億円)

(一)豚コレラ撲滅のため、自主的な互助制度への支援措置

(二)ヨーネ病などの検査と淘汰及び畜舎環境の清浄化対策

八、畜産物の加工・流通・消費対策

(一)食肉の消費拡大対策(約十七億円)

広報活動や新製品開発、普及等を実施する。

(二)食肉処理施設再編整備対策(約七十億円)

食肉処理施設の再編合理化、衛生水準の高いモデル的な食肉処理施設の整備推進に助成

九、畜産経営安定のための対策

(一)肉用牛経営の安定(約九十七億円)

肉専用種(繁殖雌牛)の規模拡大及び自家保留や子牛価格低落時に助成を実施する。

1999年度加工原料乳保証価格等総括表

	98年度	99年度	対前年度増減
保証価格	73.86円/ℓ*	73.36円/ℓ* (▲0.50円/ℓ*)	
基準取引価格	63.02円/ℓ*	62.56円/ℓ* (▲0.46円/ℓ*)	
限度数量	240万ℓ	240万ℓ (前年同)	
安定指標価格	バター	955円/ℓ*	931円/ℓ* (▲24円/ℓ*)
	脱脂粉乳	13,090円/25ℓ*	13,090円/25ℓ* (前年同)
	全脂加糖れん乳	8,211円/24.5ℓ*	8,211円/24.5ℓ* (前年同)
	脱脂加糖れん乳	7,333円/25.5ℓ*	7,333円/25.5ℓ* (前年同)

飼料基盤強化への新しい対策

	1頭当たり 草地面積	2円分	乳価引き 下げ分	計	インセン ティブ分	合計
Aランク	(100㌥~)	9,000	2,000	11,000	2,000	13,000
Bランク	(50~100㌥)	8,000	2,000	10,000	1,000	11,000
Cランク	(30~50㌥)	7,000	2,000	9,000	—	9,000
Dランク	(~30㌥)	—	2,000	2,000	2,000	3,000



お父さん、一緒にあそんで

もしもし、おばあちゃん

西武佐地区 清原孝志・朱美さんご夫妻

次男

瑠威くんるい（歳六カ月）

今回ご紹介する、わが家の人気者は、清原孝志さん宅の瑠威くん。笑顔のとってもかわいい男の子。

瑠威くんはブランコ遊びがとっても上手で、アンパンマンのついたブランコがお気に入り。一人でも乗れちゃう元気っ子。お父さんの孝志さんが茶の間に来ると「一緒にゲームしよ」と、とってもうれしそう。車のゲームを楽しそうに見ている瑠威くんは、やっぱり男の子ですね。

お母さんの朱美さんは「妹が生まれて、ちよっぴりお兄ちゃんらしくなったかな」と笑って話す。瑠威くんは、お母さんのまねをして、掃除機かけをしたり、ちやめつけたっぷり。そんな瑠威くんは、おもちゃの電話で「もしもし、おばあちゃん、瑠威だよ」、「おじいちゃん」とおしゃべりもとっても上手。

瑠威くんの成長を温かく見守る家族に囲まれて、健やかに、おおきなあれ。



りんりん電話、お兄ちゃんにも電話するの

わが家の
人気者

富農技術

新しい品種を積極的に活用しよう

北根室地区農業改良普及センター

ここ数年で、収量も高く・耐病性や耐倒伏性のある牧草品種が多く誕生しています。

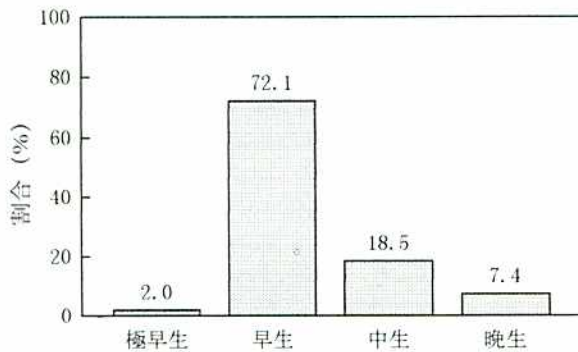
今まで品種が限られていたチモシーの中生種では、平成四年に多収で斑点病に強いアッケシ、多収で斑点病や倒伏に比較的強いキリタツブ、平成七年には二番草収量の多いホクエイが登場しました。早生種でも、平成六年に耐倒伏性が強いオーロラ、耐病性・耐倒伏性が比較的強いホクセイが登場しました。

図は、当地区の補助事業実績（平成九、十年、チモシー）をグラフ化したものですが全体の七二割を早生種が占め、中生種は一八割程度に止まっています。

サイレージは、年間通して品質格差をできるだけ少なくすることが求められています。面積や飛び地が多かったり、作業機の関係で収穫期間が長引く場合など、中生種を積極的に組み合わせ、刈り遅れによる品質低下を少なくしましょう。

その他の品種
アルファルファでは、平成六年に病気に強く、耐寒性が優れたヒサワカバが誕生し、難しかっ

チモシー早晩生別栽培実績割合
(北根室地区、平成9年・10年事業実績)



た当地区でのアルファルファ栽培が、一段と容易になりそうです。

アカクローバでは、平成五年にうどんこ病や菌核病に強いマキミドリが誕生し、シロクローバでは、小葉型でチモシーとの相性の良い（放牧向き）リベンデルとタホラが平成八年に誕生しました。

これらの品種は、誕生して年数が浅いことから、地区内での栽培は、まだ限られています。積極的に新品種を導入し、優れた栽培特性を活用しましょう。

主な牧草種子組み合わせタイプとチモシー平年出穂始め

チモシー出穂始め	タイプ	チモシー 播種量 品 種 (kg/10a)	マメ科草 播種量 品 種 (kg/10a)	マメ科草 播種量 品 種 (kg/10a)	備考
6月16日	チモシー採草 極早生型	クンプウ (1.8)	RC 勅セキ (0.2) RC マキミドリ	WC 財メ (0.2) WC カリフォルニアラジノ	
6月24日	チモシー採草 早生型1	オーロラ / ナツブ、勅セキ	RC 勅セキ (0.2) RC マキミドリ	WC 財メ (0.2) WC カリフォルニアラジノ	採草放牧兼用可
6月24日	チモシー採草 早生型2	オーロラ / ナツブ、勅セキ	AL ヒヤカバ (0.5) AL ハーナス、マヤ	WC リニヤ (0.1)	春播種が基本 排水良好な場所
6月30日	チモシー採草 中生型	キリタツブ アッケシ、勅エイ	WC リニヤ (0.2)		採草放牧兼用可
7月10日	チモシー 放牧タイプ	勅シュウ (1.8)	WC リニヤ、リベンデル、タホラ (0.2)		放牧地面積の十分な確保が必要

(注) RC: アカロハ、WC: シロクロハ、AL: アルファルファ

重大な政策転換

桜前線が一気に東北地方の入口までおしよせてきました。

例年よりかなり早いペースで開花している様ですが、開花の早い年ほど、その後、花冷えといつて、寒い日が続く様です。

何年か前の北海道も花が早く、寒い中、散ることもなく、長い花見はできたものの、結局、天候不順な年でした。

毎年、農水省の三番町分室は桜の名所、千島ヶ淵の前にあり、花の便りと畜産審議会の季節が実感されます。今年は地方統一選挙という政治日程があり、桜の開花を見ずして乳価、関連政策が決定されました。先日テレビに写し出されました、千島ヶ淵の桜を見ながら、今年の乳価を振り返ってみました。

乳価、関連については詳しく別紙にあります。

◎乳価前年比五十銭の引き下げ
◎限度数量、二百四十万^ト

◎二円事業（四十八億）引き下げ
十二億円、インセンティブ分七億の計六十八億円は土地利用型酪農推進事業の新設

今年の畜産、酪農の価格、政策運動の大きな特色は、新農業基本法のスタートの年であり、酪農、乳業の政策大綱が決定された直後の乳価という年です。

今月のたより

組合長日誌

代表理事組合長
みとも 盛行
三友 盛行

また、地方統一選挙を控え、改革の年に相応しい乳価でもって、スタートして酪農民の将来の不安を払拭したいという思い、乳価の現行水準の維持という統一認識が早い段階で基本合意がありました。

結果として、五十銭引き下げながら二百四十万^トの範囲中では逆に二十九銭のプラスとなりました。

改めて十三区を中心として、道選出の国会議員の先生方に感謝を致します。

ヘルパーと環境加算の一円三銭については、制度改革時の議論にはなじまないとして、早々と平成十二年度までの課題として先送りとなりました。農水省統計局の原生産費は三十四銭の引き下げで、直近の物価修正を行なうと、配合価格の数度の値下がりがあり、五千百円が見込まれ、乳価は二円近い引き下げになるといふ情報が伝わりました。

農民の努力が今年も報われないのかという思いの中、運動展開を行ない、いろいろな要素の見直しをして、結果として五十銭の引き下げになりました。今回、根室地区は、青年、女性の代表をお願いし、運動を展開しました。酪農を支える女性に対する適正な評価を強く訴えてきました。

特に、女性の労働評価を、男女平均賃金でなく、男女同一賃金とする様に求めました。直ちに実現はしなくとも、近い将来、かならず実現すると思えます。現行の不足払い法は

十三年から別な方式に変わります。今の段階では、生産費調査が大きな資料になる見通しです。それまでの期間に、労働時間の適正な調査方法、男女同一賃金、換算平均乳量などの基準の取り方など、まだまだ整備する事が数多くあります。

一方、二円関連対策は土地利用型酪農推進事業という新政策となりました。土地の利用状況の把握、確認、検査など今後具体的になれば、無難しい課題を多く含んでいます。国、道、組織の共通指標と事務の簡素化が求められます。

今回の乳価運動の中で、一番大きな課題がこの事業です。

生産現場からすれば、一部乳価を含め、関連対策の一つの具体化に過ぎないかも知れませんが、酪農政策面から見れば重大な政策転換です。

日本初の直接所得補償、日本型デカプリング、国際交渉の場における有利ポジションの確保など、小さな一歩であるが、大きな第一歩です。

UR合意後、行き過ぎる農業分野の経済主義の反省も含めて、自国農業保護の傾向が生まれつつあります。それは、単なる国際価格の競争でもなく、市場原理だけでなく、制度の国際化が今、最つとも求められている様です。環境という世界共通の課題に対して、飼料面積と乳牛頭数という新しい基準が導入されました。今後の方向性の一つとしてとらえる必要があります。

新年度事業に向けた 地区別懇談会終える。



新年度に向け、組合員の皆様の意見を拝聴するため、3月4、5、8日の日程で、第二俣落、西竹地区を皮切りに地区別懇談会を実施しました。

各地区とも農業所得税申告作業と重なり、出席者が少なかったり、三月五日夜には猛吹雪に見舞われましたが、平成十年度事業概況と新年度事業に向けた農協からの説明に対し、多くの意見を戴きました。

平成十年度十二月末の農協の各事業概況では、順調な生乳生産を基本に貯金、生産資材の堅調な伸びが見られ、また日曜営業に取組んだ給油所は、価格引下げの影響を供給量の伸びでカバーし、また「あるる」につきましては、昨年実績を三億円程上回る順調な成績となっております。しかし、販売事業では好調な乳代の伸びに対し、個体販売では価格低迷により約四億円の減、農産販売の増加約二億円と合わせ、総体では一億六千万円程の増となっております。

また十年度クミカン実績では、個体価格の引下げ分を生乳生産の伸びがカバーしており、個体価格の安定が特に望まれる状況でした。でん粉精算については、新たな方式を採りましたが、消費税負担等課題が残りました。

新年度での取組みについて、賦課金、販売手数料、事務手数料について、昨年十二月の懇談会と同様、説明させて戴きました。

特に賦課金については、酪農経営の規模拡大に伴い、乳代生産割負担額が増大していることから、組合員戸数割賦課金の新設と、生産割賦課率の引下げと併せ、提案させて頂きました。

賦課金は、組合員の皆様より一定の負担を戴き、それを財源とし営農や生活、組織育成、教育のためにする事業を通して、皆様に返すという性格を持ちます。こうした事業の中心には、例えば組合だよりや営農手帳、農事会長手当や熟年会、野菜組合、また青年部、女性部への活動助成費、健康管理、人間ドック助成、その他があり、今回の戸数割賦課金はこうした共通費用に対する負担を願いたいという考えであります。

その他、今回の懇談会で田Aコープの利用についても提案をさせて頂きました。この他の意見や課題など理事会等で充分協議し進めたいと思います。誠にありがとうございます。



力強く育って、春の植え付けを待っています。

●てん菜育苗プラント始まる



てん菜育苗プラントが三月十二日から始まり、途中雪のため二日程休業しましたが、十二日間の稼働を無事終えました。

今年のでん菜作付は二十四戸で、約百八十ヘクタールを予定しています。

プラント内では二十二人の流れ作業で、手際よく育苗ポットが作られて行きました。

今頃は、春の植え付けを待ち、ビニールハウスのなかで力強く育っていることでしょう。



育苗管理、除草処理などを懇談しました。

●てん菜振興会主催・栽培講習会

てん菜生産振興会主催による栽培講習会が、三月十一日ウエディングプラザ寿宴にて開催されました。

参加者約二十人により育苗管理、除草処理などや、昨年の優良事例などを懇談されました。

また、今年より新品种のアーベントが二割の導入と新レットになり、期待を胸に講習会を終えました。



酪農経営のポイント

講師 鷺見孝



女性を対象とした

酪農経営のポイントと
クミカンの見方研修会
が開かれました。

女性を対象にした酪農経営のポイントと、クミカンの見方の研修会を三月二十三日、農協会議室において開催致しました。

当日は前日の大雪の影響により、当初予定者六十人に対し三十人と、半数の出席により実施されました。基調講演では侯落地区の鷺見孝氏より「酪農経営のポイント」という事で、鷺見氏自ら実践している経営理論並びにクミカンの必要性について講演がされ、農業所得率の向上を図るにはどうしたらよいか、また、農協・渡部部長よりクミカンの見方については実例を取り上げ、農業所得、農業所得率、経産一頭当たり粗収益、乳飼比などの計算の仕方並びに目標値について説明がありました。その後、昼食には回転寿司による生寿司バイキングにより、研修会を終了致しました。



平成11年度
町営牧場夏期放牧
希望牛の取りまとめ

左記のとおり開陽台牧場の入牧を予定しておりますので、入牧を希望される農家は中標津町役場農林課畜産係、または町営牧場までご連絡願います。

- 入牧受入れ牧場 中標津町営牧場
- 取りまとめ期日 平成11年4月23日(金)まで

詳しい案内については、中標津町役場農林課畜産係、または開陽台牧場までご連絡願います。

農林課畜産係 電話3-3111・FAX3-5333
開陽台牧場 電話4-2268・FAX4-2268

子供とお金 金銭教育を考える

北根室地区農業改良普及センター

暮らしの

知恵袋



お金やものについてのしつけや指
導を、「金銭教育」と言います。

お金やものについて正しい知識を
持ち、人として正しく豊かに暮らす
ための習慣や態度を育てることは、
とても大切なことです。

しかし、実際にはどうしたらよい
か悩むことが多いものです。身近な
問題についてのQ&Aを参考に、我
が家の金銭教育について話し合っ
てみましょう。

〈幼児のしつけ〉

幼児期はすべてのしつけの出発点。
言葉で教えるより、実際に体験をさ
せた方がわかりやすく効果的です。
買い物や生き物の飼育など、体験を
通じてお金やものの大切さを教えま
しょう。

Q 就学前の子供におこづかいを与
えても良いでしょうか？

A 五歳くらいになると、おこづか

いを使うことができると言われてい
ます。与える場合、一日当りや一回
当りの金額を決め、無制限に与えな
いことが大切です。また、買ったも
のは親に見せることを約束し、守ら
せることも大切なしつけです。

おこづかいを与えない場合でも、
子供と一緒に買い物をし、お金の役
割や大切さについて少しずつ理解さ
せましょう。

Q おもちゃや絵本などを乱暴に扱
って困ります

A 子供は気に入らなかつたり、正
しい扱い方が分からない時に、物を
投げたり乱暴に扱ったりします。物
が多すぎて大切にしている習慣がつか
ず、乱暴に扱いがちです。しかるよ
りもその場で子供に分かるように話
をして、聞かせることが大切です。
また、子供は親の鏡です。親が物を
大切にすれば、子供にも伝わるでし
ょう。

〈小学生のしつけ〉

児童期から青年期への発達期は、
我慢する心を身につけさせ、こづか
い帳を記帳して、金銭の自主管理を
身につけましょう。

また、家事の手伝いにより、労働
の大切さや、労働の対価としての金
銭の大切さを考えさせましょう。

Q お正月にたくさんのお年玉をも
らいます

A 子供の楽しい夢を生かし、お金
の計画的な使い方を覚えさせる良い

機会です。何が欲しいのか、よく考
えて買わせることで、お金の価値を
分からせる勉強になります。

しかし、多すぎるお年玉は考えも
のです。全部を使わずに貯金に回し
て、将来に備えさせるしつけも行い
ましょう。

Q おこづかいを渡すとすぐ使っ
てしまいます

A おこづかいを与えることは、子
供がその範囲で欲しい物を買ひ、お
金の有効な使い方を考えるための、
家庭教育のひとつです。

前から欲しかった物をすぐに買い
に行っても、悪いことではありませ
ん。また、目につき次第物を買って
おこづかいが無くなっても、そのあ
と我慢するならば、良い経験となるで
しょう。

子供の自主性を育てるには、親が
あまり干渉しないことが大切です。

Q 友だちとお金の貸し借りをし
ているようです

A バス代が足りないとか電話代が
無いなど、困った時に助け合う貸し
借りならば、とがめることはなか
もしれません。

しかし、お金の貸し借りは好まし
いことではありません。常習化して
お互いの浪費癖を助長し、非行に結
びついたり、返済を忘れて友情を傷
つけることがないように、よく目を配
ってあげましょう。

新たな農基法を弾みに

3つの共生 次世代 消費者 アジア が創る21世紀

食料生産基盤を支援

世界の栄養不足人口8億4000万人のうち、半分がアジア地域といわれています。

アジア地域では、1960年代に稲や麦の多収品種開発と農業技術の革新で「緑の革命」が進められ、食料不足の解消が期待されました。しかし、これは定着しませんでした。その原因として、試験圃場のように十分な基盤整備が一般的には行われていなかったり、灌漑施設などの生産基盤の維持・管理を農家の共同作業で行うことが定着しなかったことが挙げられています。

日本のJAが手本

日本の場合、水田の水管理に見られるように、昔から共同作業が行われていました。また農産物の生産から流通まで、JAグループが関わっています。「協同組合運動」が日本農業に貢献しているわけで、アジア各国は農業の発展のために、「日本の農業協同組合（JA）」を見習おうとしています。

JAグループは、1963年に「アジア農協振興機関（IDACA）」

を設立、アジア、アフリカ、中南米などの農協・政府関係者の研修を受け入れていきます。1997年度までに89か国3157人がIDACAを巣立っています。研修生を国別で見ると、韓国、続いてタイ、インド、マレーシア、インドネシア、フィリピンなどの順になっています。

栄養不足の人たちに食料を援助

することは短期的な解決策で、灌漑施設の整備や農業技術の普及などでその国の食料生産を支援することが長期的な解決策といえるでしょう。もちろん、農業協同組合の理解と浸透も欠かせません。

テレフードに賛同

FAO（国連食糧農業機関）は、1997年から飢餓撲滅草の根拠



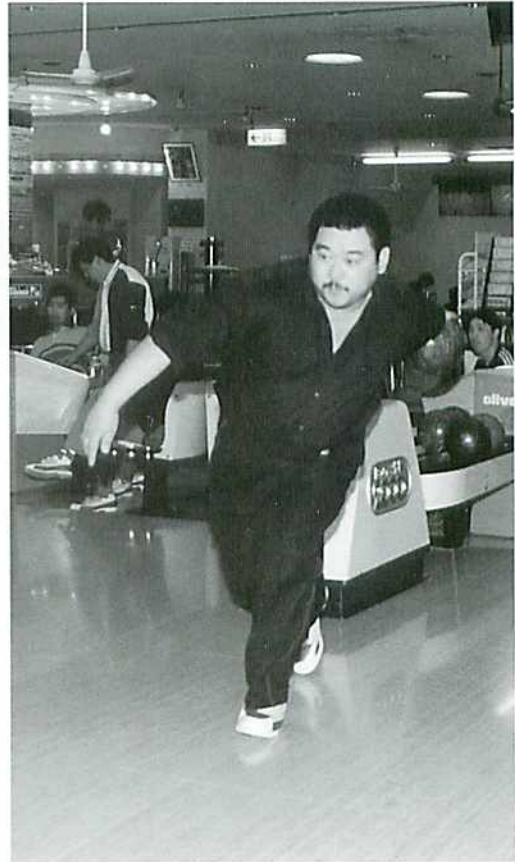
金運動「テレフード」を呼びかけています。集まったお金は、長期的な食料生産支援として使われます。JAグループは、この運動に賛同し1998年にも取り組みました。JAグループは、今後もアジアからの研修生の受け入れや募金などで支援と交流を深めていきます。

食の元気は、日本の元気 未来に続く大地の恵み

耕せニッポン JAグループ

優勝めざしてハッスルプレー!

青年部親睦ボウリング大会



青年部レクリエーション委員会主催による親睦ボウリング大会が、部員十九人が参加し三月十八日、午前十時三十分よりウコウボウルで開催されました。

大会は個人戦による二ゲームトータルで行なわれ、皆さん優勝(Aコープ商品券)をめざしてゲームスタート。ゲーム途中で点数を気にする部員や、真剣な中にもユーモラスあふれるパフォーマンスを見せる部員など、楽しい大会となりました。

結果成績

- 優勝 福嶋 寿顕氏 三六六点
- 準優勝 清原 孝志氏 三五七点
- 三位 佐々木大輔氏 三三五点



雪質良好で楽しく滑りました。

青年部武佐支部 藤原智樹

青年部武佐支部では、毎年行なわれているスキーツアーを三月八日、美羅尾スキー場で行ないました。

当日は、参加者が五人と少なかったのですが、スキー場は前日までに降った雪で、すばらしい雪質で楽しく滑ることができ、お昼にはスキー場近くのレストランで昼食を食べ、和気あいあい楽しい一日を過ごしました。

来年は、参加者を増やし、さらに楽しいイベントにしたいと思います。



三月十九日、トヨーグランドホテルで、なかしべつミルクロード主催による料理講習会が行なわれました。

講師はトヨーグランドホテル料理長・柿宇土密氏で、中標津町で生産された牛乳・乳製品じゃがいもの様々な調理方法と合わせながら、じゃがいもの牛肉包み焼き、ミルクカレー、チーズ入りじゃがいものお焼き、ブランマンジェ（牛乳のパバロア）の四品の作り方の説明がありました。

講習終了後、試食会があり、参加者六十人はおいしそうに一品一品試食しました。

地元産品を使った おいしい料理講習会。



「え？」というお話

豊岡 望月 幸夫

牛舎の作業を終えて、「やれやれ」と寝そべって、組合だよりを読む。組合長日誌の紅茶の蘊蓄（うんちく）を読み下るうち、姿勢を正して我もならば一杯の紅茶を味わわんと、椅子に深く腰掛け、大判の植物図鑑のページをめくっていくと、以外や以外、「ごぼう」（牛蒡）のお話に驚かされた。

「昭和二十一年横浜戦犯裁判で、日本陸軍中尉が「捕虜に木の根を食べさせた」という理由で無期懲役の判決を受けた」という。戦時中、捕虜収容所直江津分所でアメリカ兵に「ごぼう」を食べさせた事が、捕虜虐待の理由とされて告発されたのだが、日本以外ではごぼうを食べる習慣がないことが、有罪の決め手となったという説明が記されていた。

昨今は「おふくろの味」「家庭料理」として、きんぴらなどに珍重される「ごぼう」ですが、食習慣の違いから有罪犯になるとは恐ろしい。

以前読んだ本で、技術協力のためにキューバへ渡った農業指導者が、向こうの試験圃でごぼうを葉の調整剤として作っていると書いてあったが、なる程、まめ、ごぼうはおならの原料として効用が知られている。以上の事柄をすでにご存じの方もおられるでしょう。私はたまたげてびっくり、人間いくつになっても勉強ですね。日も長くなった三月のある日のこと……。

新職員の紹介 (准職員)



桜井 奈津紀
管理電算課管理電算係



河西 陽平
営農相談課経営相談係



佐藤 太
家畜改良課家畜改良係



高橋 将志
農産販売課農産販売係



今井 佑美
営農資材課生産資材係



安部 和美
生活店舗課店舗係



大野 真希
生活店舗課店舗係



吉田 梨恵
生活店舗課店舗係



本多 可奈子
畜産販売課肉牛消流係

退職職員

- | | |
|--------|------------------|
| 川上 義美 | 生産部農産販売課澱粉工場係 |
| 福原 徳七 | 生産部農産販売課澱粉工場係 |
| 石橋 巳智子 | 購買部営農資材課生産資材係 |
| 行田 洋子 | 生産部畜産販売課肉牛消流係 |
| 渡辺 邦子 | 購買部営農資材課生産資材係准職員 |
| 中 ゆう子 | 生産部酪農課乳製品工場係准職員 |
| 杉原 由香 | 生活部生活店舗課店舗係准職員 |
| 筒井 裕美 | 生活部生活店舗課店舗係准職員 |



橋詰 仁美
酪農課酪農係

平成11年4月1日発令
新採用職員を紹介いたします。
皆様よろしくお願ひします。

第十二回理事会の経過

開催日時 平成十一年三月二十九日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、平成十年度収支決算見込みについて
- 二、職員の期末手当について
- 三、役員報酬審議会の答申について
- 四、平成十一年度各部の事業計画骨子(案)について
- 五、平成十一年度収支予算計画について
- 六、各種資金の借入申込について
- 七、平成十年度分贈与税納税猶予に係る債務保証について
- 八、根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会スチームクリナーの運搬車輻購入負担金について
- 九、大根出荷及び肉牛施設に係る予定価格・入札日について

- 十、各課車輛のリース契約について
- 十一、資材課溶接機のリース契約について
- 十二、平成十年度組合員の加入状況について

〈協議事項〉

- 一、地区別懇談会の主な意見について
 - 二、農協創立五十周年記念表彰について
 - 三、開業人工授精所との協議経過について
- ### 〈報告事項〉
- 一、農業所得税・消費税の申告状況について
 - 二、平成十年度各種補助事業の精算状況及び事務手数料について
 - 三、平成十一年度各種補助事業予算執行状況について
 - 四、乳牛頭数調査について
 - 五、良質乳生産推進状況について
 - 六、生乳生産状況について
 - 七、平成十一年度加工乳価及び関連対策について
 - 八、馬鈴しょでん粉工場再編整備個別協議経過について
 - 九、馬鈴しょ振興会の要請について
 - 十、準職員の正職員化について
 - 十一、決算業務日程について



3月の組合日誌

- 1日 第11回理事会
- 3日 青年部役員考委員会
- 4日 地区別懇談会(第二俣落、西竹、俣落)
- 5日 地区別懇談会(開陽、俣橋、当幌)
女性部役員選考委員会
- 6日 でん粉工場再編検討会
- 8日 地区別懇談会(中標津、武佐)
- 9日 乳牛改良同志会役員会
- 10日 生食加工馬鈴しょ部会全体会議
- 12日 職員採用面接試験
青年部役員会
- 17日 役員報酬審議会
- 18日 第46回女性部通常総会
- 23日 役員協議会
乳牛改良同志会役員会
- 24日 第7回営農委員会
青年部役員会
- 25日 第9回生産委員会
酪農講習会
- 26日 第7回管理購買委員会
第3回企画会議
- 29日 第12回理事会
- 30日 青年部役員会
乳牛改良同志会役員会

3カ月予報

四月から六月までの概要

三カ月平均気温は、平年並の可能性が最も大きく、その確率は五〇割です。

可能性の大きな天候見通し

四月

平年と同様、高気圧と低気圧が交互に通る、天気は周期的に変わりますが、前半は一時冬型の気圧配置となるでしょう。気温の変動が大きい見込みです。

五月

平年と同様、高気圧と低気圧が交互に通る、天気は周期的に変わるのでしょう。気温の変動が大きい見込みです。

六月

平年に比べて、オホーツク海高気圧や気圧の谷の影響を受けやすく、天気がぐずつき低温の続く時期がありますが、気温は平年並の範囲に入る見込みです。

三カ月間の降水量は平年並の可能性が大きいでしょう。

ふるさと小包全国版取扱い開始記念

ミルクの里・中標津の なかしべつ ぜいたくです。

搾ったばかりの新鮮な牛乳がたっぷり。
なんてったってコクと風味が違います。

北海道郵政局承認
創せ第11006号



有効期限
平成12年3月31日



豊富な乳酸菌をもつ
(飲むヨーグルトタイプ) 生乳を95%以上使用
本物志向の逸品。

ケフィア・珈琲牛乳セット

ケフィアオーレ500ml×4本・珈琲牛乳250ml×12本

全国均一 **3,800円** (送料 消費税込み)

安定剤・着色料無添加

なかしべつアイスセット

120ml×10種類×各1個 合計10個

- フィック花真台 バニラ・モカ・ストロベリー・ピュアスノー
- 牧 舎 バニラ・こけもも・よもぎ・ぶきのとう
- ラ・レトリ ミルク・紅茶

全国均一 **5,000円** (送料 消費税込み)



ふるさと小包全国版取扱い開始記念

特別企画セット

ケフィアオーレ500ml×3本・珈琲牛乳250ml×5本

全国均一 **1,800円** (送料 消費税込み)